

「海の森の今」開催概要

(令和6年度 水産多面的機能発揮対策シンポジウム)

日本は海に囲まれており、海岸近くには海藻やアマモなどが「藻場」と呼ばれる海の草原を形作っています。藻場には、波の勢いを弱めたり、魚やエビの子供の隠れ場所になったり、海水中の二酸化炭素を吸収したりする役割がありますが、近年は海水温の上昇などの環境の変化やウニ・魚による食害などさまざまな要因によって減少しています。そこで、漁業者と地域の人々が協力してグループを結成し、藻場を守る活動を行っています。

このシンポジウムは、全国の先進的、効果的な保全活動を行うグループから藻場の現状（今）とこれまでの活動の成果や課題について報告し、他のグループの参考としていただくとともに、広く一般の皆様と未来へ藻場を引き継ぐための技術や思いを共有するために開催いたします。

■主催：水産庁

■主管：全国漁業協同組合連合会、全国内水面漁業協同組合連合会、(公社) 全国豊かな海づくり推進協会

■後援：全国地方新聞社連合会

■会場・日程：

| | |
|------|--|
| 会場 | 日本科学未来館（東京都江東区青海2-3-6） |
| 日時 | 2025年1月25日（土）10：00～15：40（9：00開場） |
| 会場定員 | 300名（事前登録制） |
| 参加方法 | 来場またはウェブ（Youtube）視聴 ※YouTubeの配信URLは、後日、 hitoumi.jp へ掲載します |

■プログラム：

| 時刻 | 内容 | |
|--------|-----------------|---|
| 9：00～ | 開場・受付 | |
| 10：00～ | 開会、挨拶、オリエンテーション | |
| 10：15～ | 話題提供 | パルシステム生活協同組合連合会 商品開発本部 茂木洋介 氏 |
| 11：00～ | | NPO三陸ボランティアダイバーズ 佐藤 寛志 氏 |
| 11：45～ | | 休憩 |
| 13：00～ | | 山川地区藻場保全会 川畑 友和 氏 |
| 13：45～ | 活動グループによる発表 | 日和佐藻場再生委員会（徳島県美波町） |
| 14：05～ | | 深江ブループロジェクト活動組織（長崎県南島原市） |
| 14：25～ | | 休憩 |
| 14：40～ | | 平岩採介藻グループ（宮崎県日向市） |
| 15：00～ | ディスカッション | <コーディネーター・コメンテーター> ・八木 信行 氏 ・藤田 大介 氏（元 東京海洋大学大学院 准教授） ・中嶋 泰 氏（オフィスMOBA 代表） ・演者・発表グループ |
| 15：30 | 閉会 | |

※発表者・コメンテーターは変更する場合があります。

※日本科学未来館の常設展、特別展、ドームシアターへの入場は別途料金が必要です。

■お問い合わせ：全国漁業協同組合連合会（関根・片瀬）

電話：03-6222-1315 FAX：03-6222-1361 E-mail：info@hitoumi.jp

■ポスター展示（テキストにも収録）

| 活動組織名 | 地域 | 主な活動内容 |
|-------------|---------|--------------|
| 北九十九島地域活動組織 | 長崎県佐世保市 | 藻場の保全 |
| 日出地域活動組織 | 大分県日出町 | |
| 守江湾干潟保全の会 | 大分県杵築市 | 干潟等の保全 |
| 鏡町アサリ活動組織 | 熊本県八代市 | |
| 羅臼水域監視活動組織 | 北海道羅臼町 | 海の監視ネットワーク強化 |
| 中泊町沿岸訓練実施隊 | 青森県中泊町 | |
| 勝本地区活動組織 | 長崎県壱岐市 | |
| 城ヶ島藻場保全活動組織 | 神奈川県三浦市 | 地域との連携 |
| 愛南の藻場を守る会 | 愛媛県愛南町 | |

■海藻おしば教室

当日はコンファレンスルーム水星・火星にて海藻を使った絵葉書の制作体験を行う海藻おしば教室を開催します。

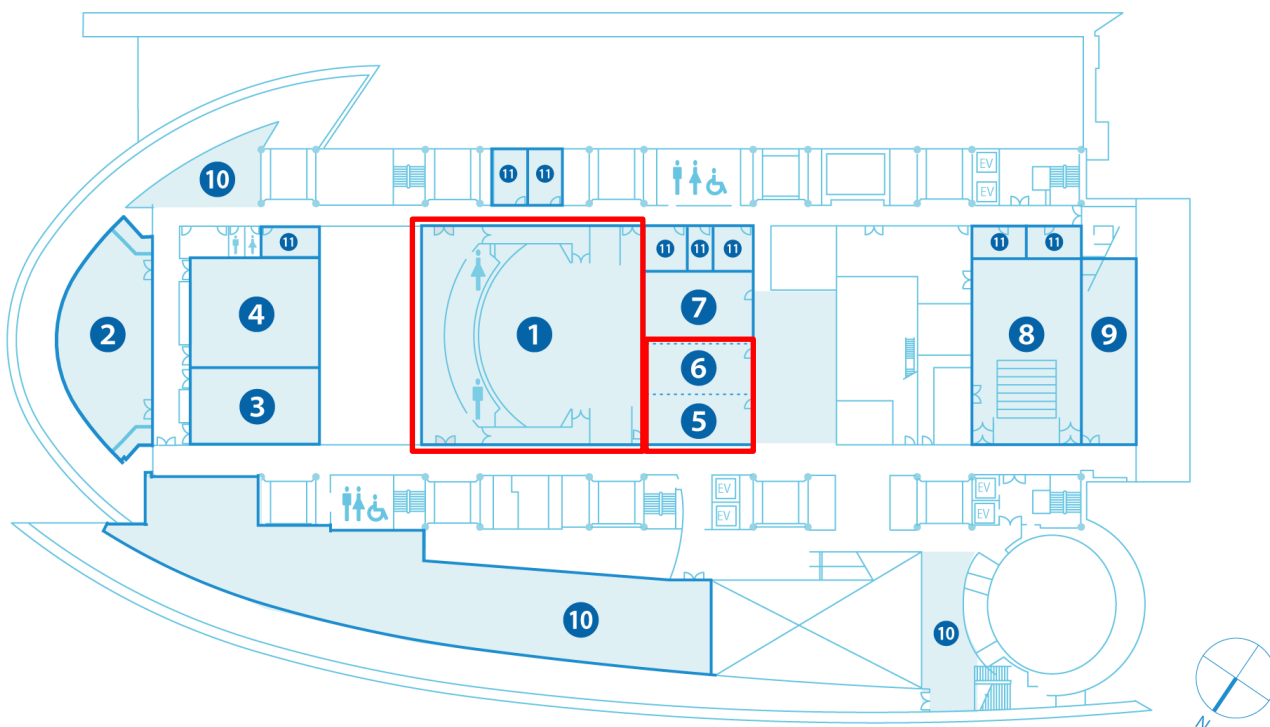
開催予定時間：10：30～14：30

所要時間：1時間程度



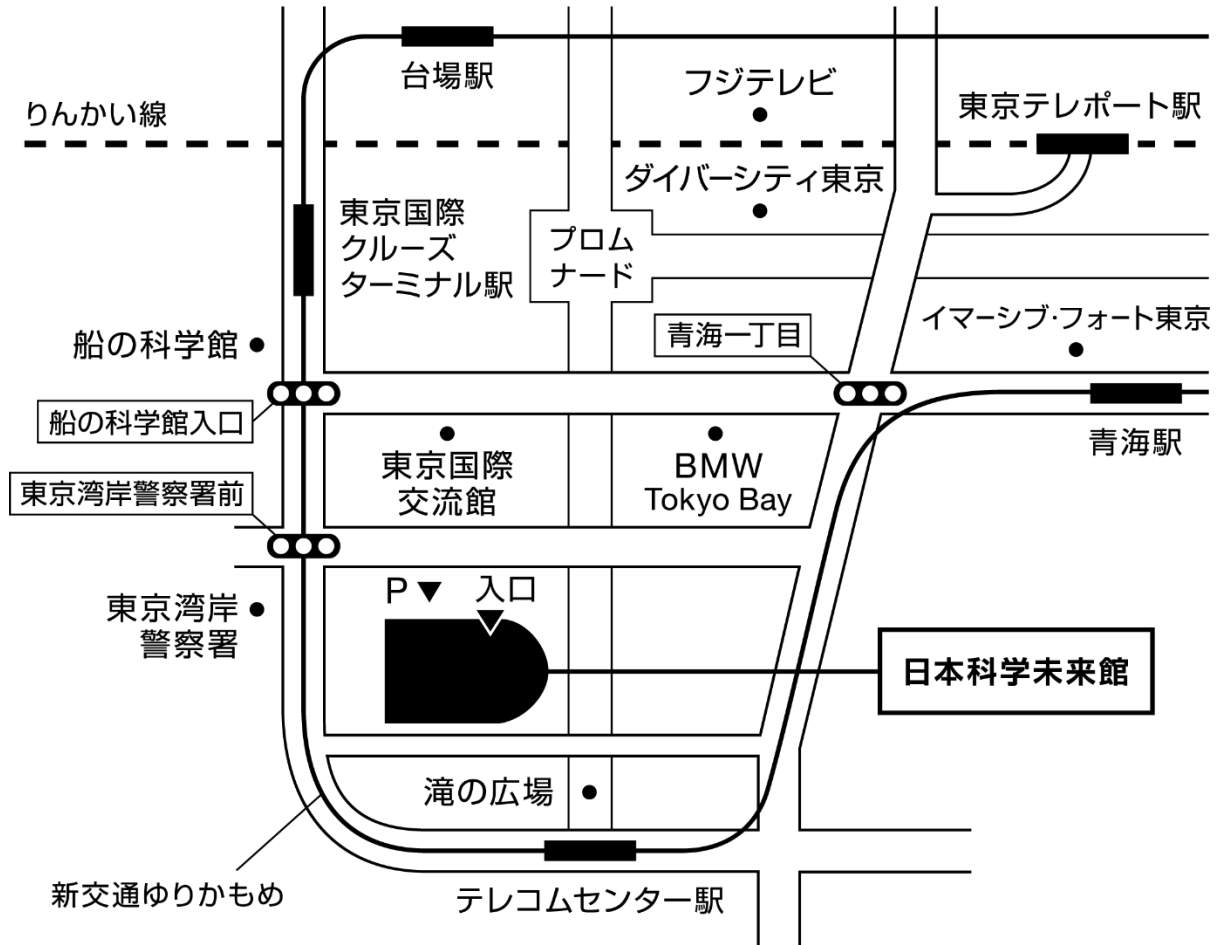
■館内図

7階



①未来館ホール ⑤コンファレンスルーム水星 ⑥コンファレンスルーム火星

■アクセス



●新交通ゆりかもめ

「東京国際クルーズターミナル駅」下車、徒歩約5分

「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

●東京臨海高速鉄道りんかい線

「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分